

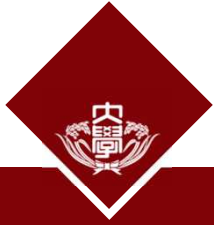
WASEDA UNIVERSITY

資料2

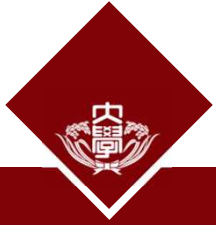
早稲田大学 日本語教育研究センター

日本語教育研究センター所長
池上 摩希子





- 本学における全ての**日本語教育を一元的に担う**
学内機関である。
- 学内の**6,000名**を超える外国人学生の**約半数**が
日本語科目を履修する。
- ひとりひとりの学生がそれぞれの生き方の中で日本
語を意味づけ、**自らに必要な日本語を主体的に学び**
取ることができる学習機会を提供する。



WASEDA UNIVERSITY

日本語教育研究センターで学ぶ学生

● 早稲田大学・大学院に所属する学生

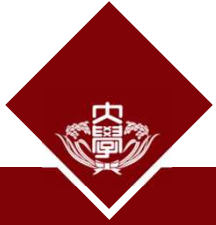
- 正規生
- 科目等履修生
- 交換留学生 国費留学生

● センターに在籍する学生

- 私費留学生(科目等履修生)
- 交換留学生 国費留学生

● その他

- 教員、研究員、およびその家族



● 私費留学生

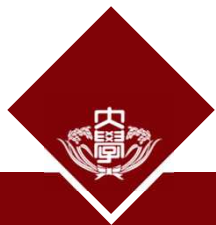
- 12年の初等・中等教育を終えた者
- かなが既習済であること
- 留学計画書および在籍・卒業学校の学業成績やGPA等の出願書類に基づき選考を実施し、一定水準以上の学力を有する学生

● 交換留学生

- 教育機関において1年以上の日本語学習歴があること
- 在籍する大学でのGPA(4点満点中)2.5以上であること

● 国費留学生

- 日本の大学において、日本語による履修が可能であること



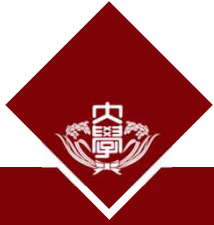
2019年5月時点

外国人学生: **6,124**

日本語科目の履修者: **2,282**

	国/地域	学生数	比率
1	中国	804	35.2%
2	韓国	303	13.3%
3	米国	261	11.4%
4	台湾	257	11.3%
5	日本	138	6.0%
6	英国	48	2.1%

上位5か国:
77.2%



●カリキュラム

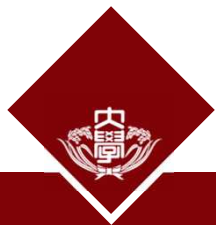
- 1レベル(初級)から8レベル(超級)まで、学習者は自分の能力や興味に合わせて科目を選択し、総合的に日本語を学ぶことができる。
- 総合科目群: 4技能を総合的に学習する。
- テーマ科目群: 担当教員が各々の専門性を活かした教材・シラバスを策定し、幅広いテーマを展開する。

●入学時期...4月、9月

●プログラム...1年プログラム、半年プログラム

●修了必要単位数

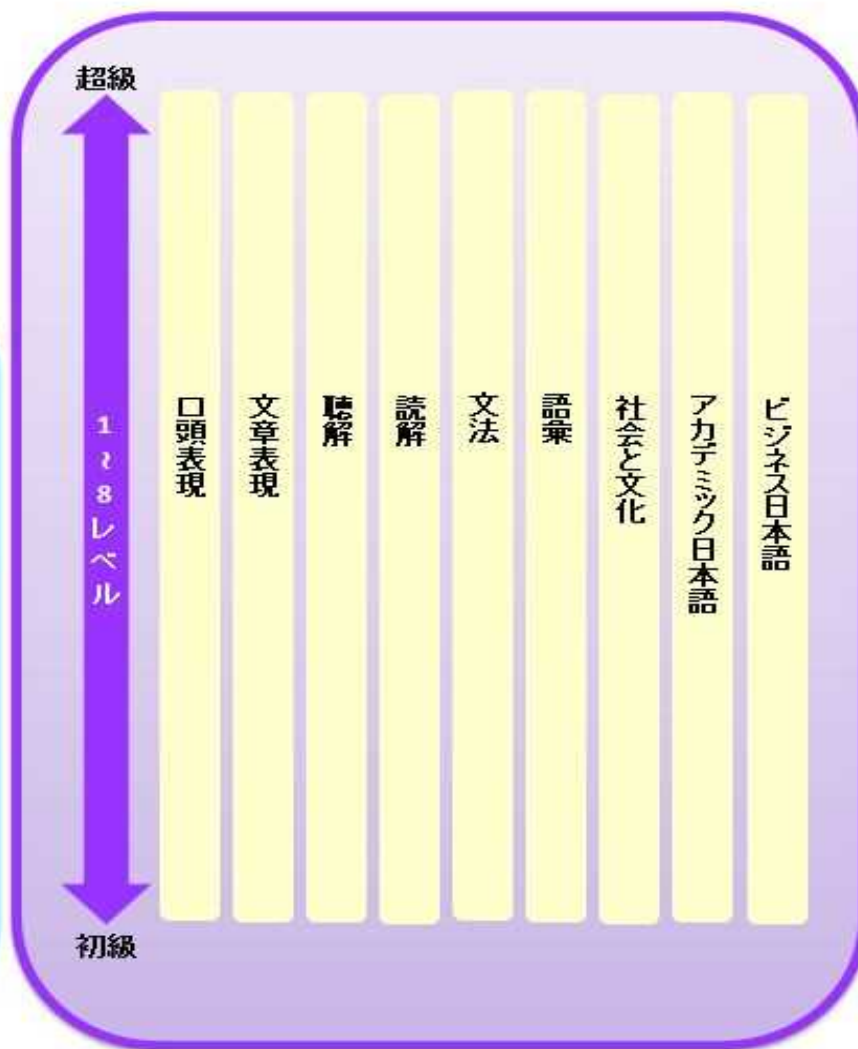
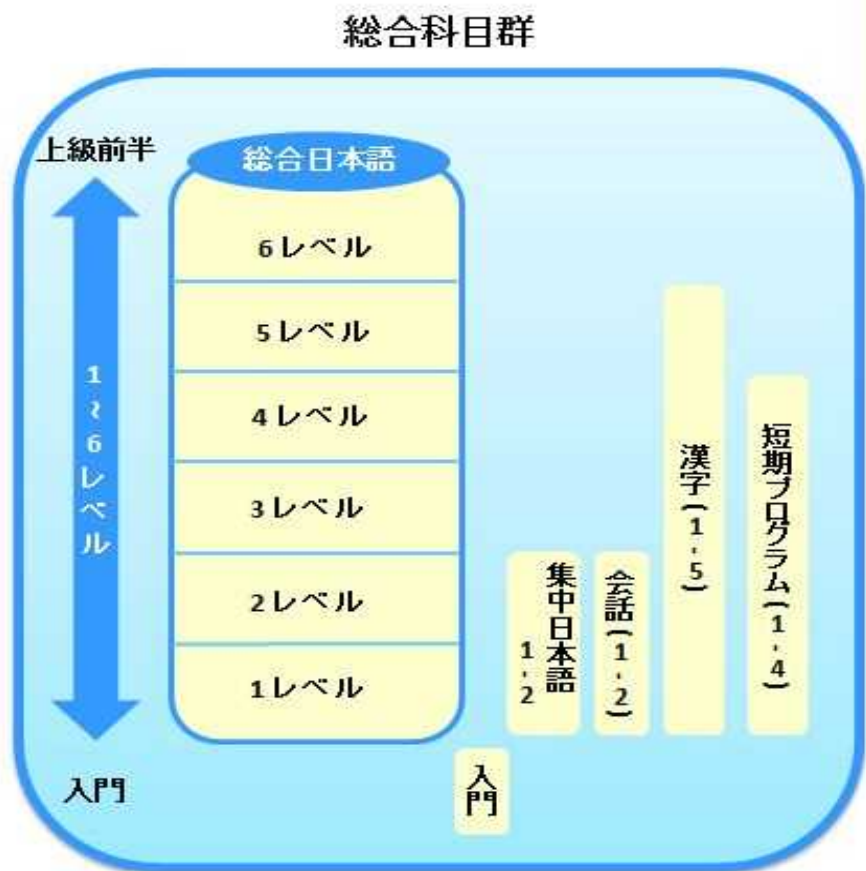
- 26単位(半年プログラムは13単位)修了した者に修了書を発行する。

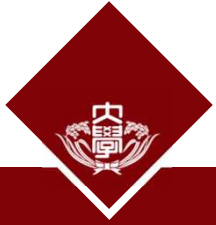


日本語教育プログラムの全体像

日本語教育研究センター科目構成(2019年度)

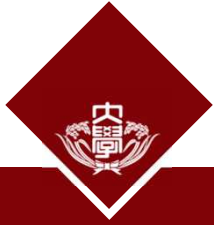
テーマ科目群





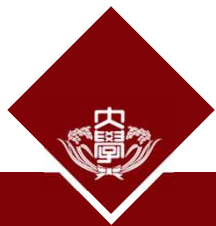
日本語教育のサポート体制

- **にほんごわせだの森**
 - 日本語教育研究科院生による日本語を媒介とした共修教育の場
- **TA ...履修者31名以上のクラスに本学学生を1名ずつ配員**
- **日本語授業ボランティア**
 - 希望する教員および本学学生からのアンケート結果を元にマッチング
- **わせだ日本語サポート**
 - 日本語の学習計画に関する相談、学習に関する情報提供・質問対応
 - 主に日本語教育研究科の院生がLAとして日本語学習をサポート
- **ICC(異文化交流センター) ...学生を主軸とした様々な相互交流**
 - にほんごペラペラクラブ、ビジター・セッション、ジャパニーズ・カルチャー・ウィーク等



在籍管理

- 授業開始後**4回目**に、それまでの全授業時間数の2分の1以上欠席している学生については、**授業担当者が事務所に報告**する。事務所は当該学生にメール等で**連絡**を取り、必要に応じて**面談等**を行う。その後、授業を**連続3回欠席**している学生がいた場合にも授業担当者が**事務所に報告**する。
- 出席時間数が授業時間数の**3分の2に満たない**場合は、原則として**単位を付与しない**。



- **就学上支援が必要な学生**については、入学前から学内関係機関（保健センター、障がい学生支援室、GSセンター）と連携を取りながら、授業担当者に相談の上、授業選択を行っている。
- **資格外活動等の把握と指導**は、オリエンテーション時に内容や申請方法について説明し、窓口でも問合せに対応している。また、ビザの期間更新の際には、資格外活動に関する記載内容を確認している。